

安全性データシート

改訂: 2024年7月19日

前作成日: 2023年9月1日

SDS 番号: 477-2

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

720 CCG チェーン、ケーブル、ギア潤滑剤 (バルク)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: チェーン、ケーブルおよび小型、中型のオープンギアに使用します。

使用上の制限: 情報なし

使用が奨励されない理由: 適応せず

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDS の要求: www.chesterton.com

Eメール (SDS に関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHS/欧州規制 1272/2008 [CLP]による分類

眼刺激、区分 2, H319

2.1.2. 追加情報

H (危険) ステートメントの全文: セクション 2.2 および 16 を参照。

2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制 1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 警告

危険有害性情報: H319 強い眼刺激。

使用上の注意： P264 取扱後は皮膚よく洗うこと。
P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。
P305/351/338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337/313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

補足情報： なし

2.3. その他の危険性

なし

セクション 3： 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分'	重量%	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	GHS 分類	特定の濃度制限 、 M ファクター 、 ATE
ピロリン酸四ナトリウム	0.7 - 1.4	7722-88-5	1-497	Eye Dam. 1, H318 Acute Tox. 4, H302	ATE (経口): 1,624 mg/kg ATE (経皮): 7,940 mg/kg

H (危険) ステートメントの全文：セクション 16 を参照。

'分類基準： * 労働安全衛生法
* 毒物および劇物取締法
* GHS, 1272/2008/EC, REACH

セクション 4： 応急処置

4.1. 応急処置情報

吸入： 新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。

皮膚への付着： 石鹸水で皮膚を洗浄してください。刺激症状が発生もしくは持続する場合は、医師に相談してください。

目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断を受けてください。

呑み込んだ場合： 医療担当者の指示がない限り、無理に吐かせないでください。意識がある場合は、水で口をゆすがせ。直ちに医師の診断を受けてください。

応急手当を行う人の保護： 目に入らないようにしてください。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション 888.2.2 参照してください。

4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)

目に刺激を与えます。長時間あるいは繰返し皮膚に付着すると、脱脂や炎症を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

高速皮膚注入は、感染、外観の損傷、血液欠乏などの原因となる無出血の刺創を残す恐れがあり、切断が必要になることがあります。外科専門医の治療を直ちに受けてください。

セクション 5: 火災時の処置**5.1. 消火剤**

適切な消火剤： 二酸化炭素、乾燥薬品、耐アルコール性発泡体 あるいは 水霧

不適切消火剤： 大量の水噴射

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物： 炭素・硫黄の・カルシウム・リンの酸化物。

その他の危険性： 火災で急速に脱重合を起こし引火性の蒸気を発生する可能性があります。200° C 以上の温度で脱重合を起こし、極めて引火性の高いブタンモノマーを発生することがあります。蒸気が低い場所や囲われた場所に蓄積したり、あるいは発火源まで相当な距離を移動しフラッシュバックを引き起こすことがあります。消火活動による流出液を排水口や水路に流さないでください。

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置**6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

充分換気してください。セクション 8 で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

流出分は小さな場所に回収してください。吸収性の材料（砂、おがくず、クレー等）で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション 13 を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意**

セクション 8 で指定された露出制御と人体保護を利用してください。作業区域で飲食、喫煙をしないでください。飲食、喫煙の前に手や顔を洗ってください。使用時以外は容器の蓋を閉めてください。体内に注入した場合は直ちに治療を受けないと、患部を損失する恐れがあります。可動装置に関わる他の製品と同様、注意して使用してください。疑問がある場合は使用前に装置を停止してください。

7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)

熱や湿気のない所に保管してください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8： 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
ピロリン酸四ナトリウム*	N/A	N/A	N/A	N/A

* 米国国立労働安全衛生研究所（NIOSH）REL（TWA）： 5 mg/m³

生物学的限界値

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

8.2. 曝露制限

8.2.1. 設備対策

条件は特になし。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護： 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可されたミスト用有機蒸気呼吸マスクを使用してください。

手袋： 耐薬品性手袋（例：ネオプレンあるいはニトリル）。

目 / 顔の保護： 安全ゴーグルあるいは眼鏡。

その他： なし

8.2.3. 環境暴露措置

セクション 6 と 12 を参照。

セクション 9： 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	グリース	pH	適応せず
色	オフホワイト	動粘	700 cSt @ 40° C (基油)
臭気	かすかな臭気	水溶性	不溶性
においの閾値	未定	分配係数:n-オクタノール/ 水 (Log Pow)	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	適応せず	20°C での蒸気圧	未定
融点・凝固点	適応せず	相対密度	0.91 kg/l
揮発率% (容量比)	未定	蒸気密度 (空気=1)	> 1
引火性	未定	蒸発率 (エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/低爆 発限界	未定	重量比芳香物含有率 (%)	未定
引火点	> 115° C	爆発性	未定
方法	PM 閉カップ	酸化性	未定
自己発火温度	適応せず	粒子特性	適応せず
分解温度	未定		

9.2. その他の情報

なし

セクション 10: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

セクション 10.3 と 10.5 を参照。

10.2. 化学的安定性

通常の状態では安定。

10.3. 危険な反応の可能性

200° C 以上の温度で脱重合を起こし、極めて引火性の高いブタンモノマーを発生することがあります。

10.4. 避けるべき条件

炎、熱、スパーク、および高熱表面。

10.5. 配合禁忌薬品

強酸、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

通常の保管・使用条件では、有害な分解生成物は生成しないはずです。

セクション 11: 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路： 皮膚や目への付着。

急性毒性 -

経口： ATE-混合物 = 120,296 mg/kg

物質	テスト	結果
ピロリン酸四ナトリウム	LD50、ラット	1,624 mg/kg

経皮： 有害を起こさないとされています。

物質	テスト	結果
ピロリン酸四ナトリウム	LD50、うさぎ	7,940 mg/kg

吸入： 有害を起こさないとされています。

皮膚腐食性/刺激性： 長時間あるいは繰返し皮膚に付着すると、脱脂や炎症を起こすことがあります。

眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性： 強い眼刺激。

物質	テスト	結果
ピロリン酸四ナトリウム	目の炎症、うさぎ	重篤な目の損傷 / 激しい刺激

呼吸器または皮膚の感作： 既知の影響はありません。

胚細胞突然変異原性： ピロリン酸四ナトリウム: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

がん原性： 本製品は、国際がん研究機関 (IARC) あるいは欧州化学機関 (ECHA) の規定する発がん性物質を含有していません。

生殖毒性： ピロリン酸四ナトリウム: 生殖毒性物質ではないとされています。

STOT - 単回暴露： ピロリン酸四ナトリウム: 有害を起こさないとされています。

STOT - 反復暴露： ピロリン酸四ナトリウム: 入手可能なデータによると繰返し晒されても大きな悪影響はないとされています。

吸引性呼吸器有害性： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

11.2. その他の情報

既知の影響なし

セクション 12： 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

ピロリン酸四ナトリウム: 水生生物に害はないとされています。

12.2. 持続性・分解性

ピロリン酸四ナトリウム: 無機物質。

12.3. 生物蓄積の可能性

ピロリン酸四ナトリウム: 生体内蓄積は有りません。

12.4. 土壤中の移動性

グリース。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください（セクション9参照）。

12.5. PBT・vPvB 評価の結果

入手不可

12.6. 内分泌かく乱特性

既知の影響なし

12.7. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13： 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

セクション 14： 輸送上の注意**14.1. UN 番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.2. UN 固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.5. 環境への危険性

適応せず

14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

14.7. Marpol 73/78 附則 II による貨物輸送および IBC コード

適応せず

14.8. その他の情報

適応せず

セクション 15: 適用法令

15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）

製造輸入量の届出を要しない物質：ピロリン酸四ナトリウム

労働安全衛生法（安衛法）

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物：ピロリン酸四ナトリウム

セクション 16: その他の情報

略語一覧:

ACGIH: 米国産業衛生専門家会議

ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

ATE: 急性毒性推定値

BCF: 生物濃縮係数

cATpE: 変換後の急性毒性推定値

CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規（1272/2008/EC）

GHS: 世界調和システム

ICAO: 国際民間航空機関

IMDG: 国際海上危険物規定

LC50: 試験動物の 50% を死亡させる致死濃度

LD50: 試験動物の 50% を死亡させる投与量

LOEL: 最小作用量

NOEC: 最大無作用濃度

NOEL: 最大無作用量

N/A: 該当せず

PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質

PEL: 許容暴露限度

REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制（1907/2006/EC）

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定

SDS: 安全性データシート

STEL: 短時間暴露許容濃度

STOT: 特定標的臓器毒性

TLV: 暴露限界

vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質

その他の略語は www.wikipedia.org で調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典:

独立行政法人 製品評価技術基盤機構（通称 ナイト、NITE）

欧州化学物質庁（ECHA）- 化学物質に関する情報

スウェーデン化学物質庁（KEMI）

米国国立医学図書館毒物学データネットワーク（TOXNET）

化学分類および情報データベース（CCID）

GHS による混合物の分類方法:

分類	分類手順
眼刺激性 2, H319	算出方法

関連する H(危険)-ステートメント:

H302: 飲み込むと有害。

H318: 重篤な眼の損傷。

その他の情報: なし

本改訂による SDS の変更: 製品識別。

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。

